

錯視の文法を探る～視覚モデリングへの諸アプローチ

とき：2017 年 3 月 6 日（月）、7 日（火）

ところ：明治大学中野キャンパス 6 階セミナー室 3（JR 中央線中野駅から徒歩 8 分）

聴講は、参加無料、事前参加登録不要です。懇親会は会費制（会費 2000 円）で、当日も受け付けますが、あらかじめ杉原まで参加のご連絡をいただくと助かります。

3 月 6 日（月）

13：00－13：50 一川誠（千葉大学文学部）

「奥行情報による時空間の構造化が引き起こす錯視」

14：00－14：50 中村聡史（明治大学総合数理学部）

「錯覚とユーザインタフェース」

15：10－16：00 小山透（近代科学社）

「錯覚だらけの、出版の世界」

16：10－17：00 北岡明佳（立命館大学総合心理学部）

「並置混色と錯視」

17：30－19：30 懇親会（14 階ファカルティラウンジ、会費制）

3 月 7 日（火）

9：30－10：00 杉原厚吉（明治大学先端数理科学インスティテュート）

「高さ反転定理と、鏡の中で一部が消える透身立体錯視の創作法」

10：00－10：50 渡邊恵太（明治大学総合数理学部）

「自己知覚と錯覚」

11：00－11：50 蘆田宏（京都大学大学院文学研究科）

「The spinner illusion: 速度知覚における時空間周波数の影響」

13：00－13：50 星加民雄（崇城大学総合教育センター）

「視覚芸術表現要素としての視点位置とその応用」

14：00－14：50 阿部富士子（造形作家／扇研究家）

「知られざる「扇」の世界—折りにみる視覚効果」

15：10－16：00 外井哲志（九州大学工学研究院）

「初めての目的地へのドライバーの行動と案内誘導」

16：10－17：00 森川和則（大阪大学大学院人間科学研究科）

「顔と化粧の錯視」

主催：明治大学先端数理科学インスティテュート（MIMS）

明治大学研究ブランディング事業「数理科学する明治大学」錯視学研究グループ

共催：科研費基盤研究（A）「視覚の心理・数理モデリングと第 5 世代不可能立体」

連絡先：杉原厚吉（グループリーダー）kokichis@meiji.ac.jp